

石川町

議会だより

No. 206

令和2年 11月1日

発行/石川町議会

編集/石川町議会

広報常任委員会

2020

9月 定例会

写真/モトガッコに集まれ

P2 9月定例会 審議結果

P5 紙上中継(委員会)

P6 9月定例会 一般質問(町政をただす)

P17 あれからどうなった?(一般質問のその後は)

はどう使われたのか

決算 審議



令和2年9月定例会は、9月3日から9月15日までの13日間の会期で決算審議を中心に開催されました。初めに、令和元年度健全化判断比率、資金不足比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の廃止及び一部改正や補正予算、人事案件などを審議し決定しました。

一般質問には11人の議員が登壇し、36人の傍聴者がありました。

令和元年度(平成31年度)会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	採決	賛・反	
一般会計	80億3,273万円	76億9,415万円	3億3,858万円	認定	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	16億6,901万円	16億3,050万円	3,851万円	認定	全員賛成
	後高齢者医療	1億7,771万円	1億7,726万円	45万円	認定	全員賛成
	介護保険	18億2,776万円	17億4,233万円	8,543万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	1,843万円	39万円	1,804万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	1,416万円	28万円	1,388万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1,340万円	291万円	1,049万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	414万円	334万円	80万円	認定	全員賛成
水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金3,503万円は、建設改良積立金に積み立てをする		可決及び認定	全員賛成	
	収益的収支	3億6,020万円	3億2,517万円			3,503万円
	資本的収支	8,997万円	1億2,135万円			△3,138万円

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補てんした。)

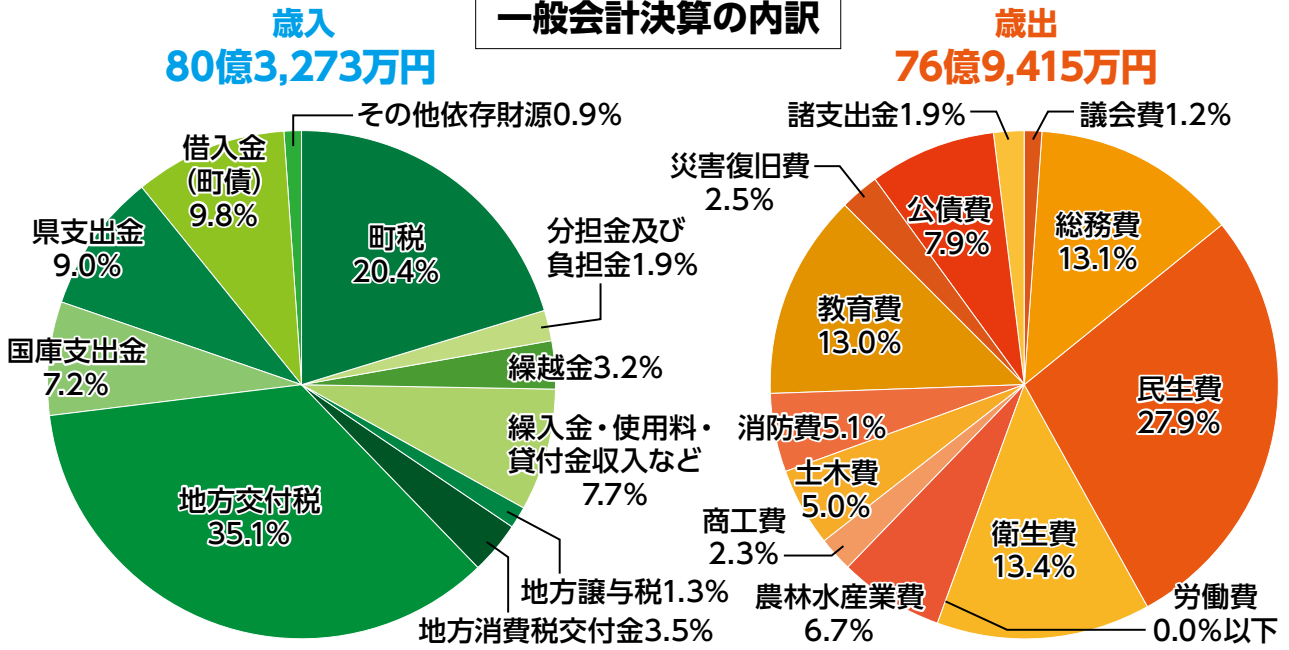
令和元年度主な事業

- ◆旧中谷第二小学校改善事業
 - ◆子ども・子育て支援給付事業
 - ◆通学支援事業
 - ◆給食費補助事業
 - ◆若者子育て世帯住宅取得支援事業
 - ◆台風第19号災害ごみ処理事業
 - ◆農業施設管理事業
 - ◆まちなか再生事業
 - ◆道路新設改良事業
 - ◆石川中学校給食調理場建設事業
 - ◆小中学校冷房設備設置事業
 - ◆文教福祉複合施設改善事業
- その他、さまざまな事業に使われました。

元年度 一般会計 特別会計

総額112億5千万円

一般会計決算の内訳



令和元年度(平成31年度)
石川町健全化判断比率について(報告)

区分	早期健全化比率	平成30年度(参考)	平成29年度(参考)
①実質公債費比率(3年間平均)	4.5% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	5.0%	5.3%
②将来負担比率	24.1% (早期健全化基準350.0%)	12.9%	18.6%
③実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—	—
④連結実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—	—

*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

令和元年度(平成31年度)
石川町資金不足比率について(報告)

区分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

決算審査報告

代表監査委員

南條 一夫

監査委員

菊池美知男

【審査結果】

令和元年度(平成31年度)決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを7日間審査しました。監査の結果は、各会計とも決算の根幹については適正に処理されておりました。

しかし、予算の流用や予備費の充当は、やむを得ないものが大部分でしたが、流用時期、事由からして当初での予算措置が可能であったと認められるものもありましたので、事業の見通しを的確に把握し適切な予算執行をお願いします。また、収入未済額については未納者の実態を的確に把握し、納税納入についての適切な指導を行うとともに、収納体制の強化と債

【審査意見】

財政指標が健全な水準を保っているとはいえ、町税、各種交付金等の減収、山積する行政課題や新たな財政需要への対応など、財源確保が一段と厳しくなることが予想されます。今後とも、健全な財政運営に留意しつつ、各般の施策展開と効率的・効果的かつ確実な事務事業を執行し、町の発展と町民福祉の向上に寄与されるよう望むものです。

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案	審議結果
議案 第46号	石川町老人福祉センター条例を廃止する条例	可 決
議案 第47号	石川町手数料条例の一部を改正する条例	可 決
議案 第48号	令和元年度（平成31年度）石川町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第49号	令和元年度（平成31年度）石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第50号	令和元年度（平成31年度）石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第51号	令和元年度（平成31年度）石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第52号	令和元年度（平成31年度）石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第53号	令和元年度（平成31年度）石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第54号	令和元年度（平成31年度）石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第55号	令和元年度（平成31年度）石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第56号	令和元年度（平成31年度）石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認 定
議案 第57号	令和2年度石川町一般会計補正予算（第5号）	可 決
議案 第58号	令和2年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案 第59号	令和2年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第60号	令和2年度石川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第61号	令和2年度石川町水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第62号	防災備品購入契約の締結について	可 決
議案 第63号	石川町教育委員会委員の任命について	同 意

議案番号	請願・発議	審議結果
請願 第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	採 択
発議 第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可 決
発議 第9号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可 決



文教厚生常任委員会

個人番号(マイナンバー)通知カードが廃止

石川町手数料条例の一部を改正する条例を審査

通知カードは令和2年5月25日に廃止され、マイナンバーの通知は個人番号通知書に変更になりました。

Q マイナンバーカードのメリットは。

A 主なメリットとしては、運転免許証などと同様に公的な身分証明書として使えるほか、コンビニなどで、住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できます。

令和3年3月(予定)から健康保険証として使え、就職・転職・引越しても引き続き使用できます。

Q マイナンバーカードの申請は。

A 役場窓口での申請のほか、スマホやパソコンでマイナンバーカードの交付申請が可能です。



▶マイナンバーカード

令和3年3月(予定)から健康保険証として使え、就職・転職・引越しても引き続き使用できます。 ※詳細については町民課へご相談ください。

予算決算審査特別委員会

令和元年度決算では

Q 石川町の地方債残高は71億円を超えている。財政の健全運営と言えるのか。

A 石川町の令和元年度末の地方債残高の合計は、71億6千万円あまりとなっています。その内訳は、臨時財政対策債が約31億円、過疎対策事業債が約12億円、その他の町債が約28億円となっています。その内、臨時財政対策債は、理論値で100%、過疎対策事業債は70%の交付税補填(還元)が見込まれることから、地方財政の健全性を判断する指標である実質公債費比率及び将来負担比率のいずれも国で示している早期健全化基準を大きく下回っています。(3ページ参照)

こうしたことから本町は、

類似団体と比較しても健全な財政運営が行えているものと考えています。しかし、今後の日本経済の動向や国家財政の推移を注意深く見守り、事業の選択には、慎重な判断をしていかなければならないと考えています。



▲老朽化が進む第一保育所

Q 小学校の統合の時期は

A 年内に統合の時期を決定



菊池美知男 議員

書ききれません。
ぜひ議会傍聴を！

◆ 小学校の統合について

質問 統合の今後の進め方とスケジュールについて伺う。

答弁 今年度から沢田小学校に複式学級が生じたことから、平成24年度に作成した統合計画に基づき、統合に向けて検討を進めていきたいと考えています。今後は、保護者や行政区長との意見交換、地域への説明を行い、統合の時期を年内には

◀ 147年の歴史がある沢田小学校



◆ 道路の充実に

質問 国道道路の改良要請について伺う。

答弁 地元の要望や意見を踏まえ、県や国に要望活動を積極的に進めたいと考えています。

質問 町道の改良方針について伺う。

答弁 路線の重要性や整備の緊急性、交通量、投資的効果などを総合的に勘案しながら改良を進めています。

要望 歩道で歩けない状況になっている所を確認し、県に強く要望していただきたい。

◆ 消防・防災対策について

質問 予防消防の考え

方について伺う。
答弁 防災行政無線による啓蒙、春秋の火災予防期間中の防火パレード、冬期間の夜警活動に取り組んでいます。

質問 広域消防との連携について伺う。

答弁 町民の生命と財産を守るため、消防署と消防団の協力体制により、昼夜を問わず活動しています。

質問 令和元年東日本台風の検証結果と今後の対策について伺う。

答弁 今年4月からの機構改革で防災対策室を設け、現在、検証結果を取りまとめているところです。

要望 町民が安全で安心して暮らせるように、早急に検証し、対策を取っていただきたい。

Q 「こども医療費助成事業」における「現物給付」はいつから

A 本年10月の診療分から現物給付に移行できるよう進めています



乾 初美 議員

全国で約200の自治体が妊産婦医療費助成制度を実施しています。

※「こども医療費助成事業」において「現物給付方式」が採用されると、地域を制限されることなく、窓口での支払いは無くなります。

◆少子化対策と子育て支援について

質問 「妊産婦医療費助成制度」の創設について。

答弁 他市町村の状況を参考に、導入に向けて

て慎重に検討していきたいと思えます。

要望 健やかに妊娠期間を過ごしてもらい、安心して子供を産み、育てるために、「妊産婦医療費助成制度」の創設を訴えます。

質問 「特定不妊治療費助成事業」におけるプライバシー保護の取り組みは。

答弁 郵送による申請も十分対応していきたいと考えています。

質問 「不育症治療費助成事業」の創設について。

※不育症とは、妊娠はするが、流産、死産、新生児死亡などを繰り返してしまいう状態のこと。
答弁 財源を確保しながら、十分検討していきたいと思えます。

要望 「特定不妊治療費助成事業」に加えて、「不育症治療費助成事業」にも取り組んで欲しい。

◆ファミリーサポートセンター事業について

質問 ファミリーサポートセンター設置について。

答弁 本年10月から業務受付を開始したいと

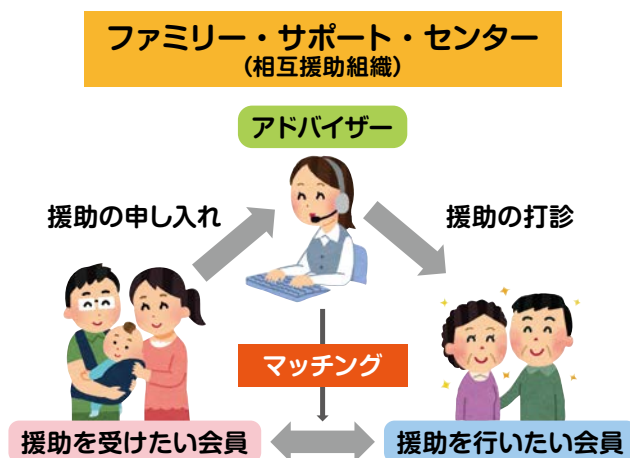
考えています。

質問 事業内容は。

答弁 子どもの一時預かり、保育所、小学校習い事等への送迎を中心とした活動を考えています。

質問 緊急に援助が必要な場合や、病児・病後児の預かりについては。

答弁 必要があれば、緊急時の提供会員の確保について検討していきたいと考えています。



要望 病児・病後児だけでなく、多胎児、障がい児にも対応できる提供会員の確保や、医療機関との連携体制の整備など、関係機関との連携も進めて欲しい。

Q 病院の誘致活動は

A ひらた中央病院の誘致は断念します



根本 重泰 議員

病院の移転
交渉断念はとても
残念です

◆ 病院等に関する検討委員会に聞きたいこと

質問 審議経過は。

答弁 「将来の地域医療を慎重に考え対応していく必要がある」という内容でした。

質問 ひらた中央病院の誘致、移転に関するは。

答弁 「石川町に病院を造るチャンス」「車で20分程度で行けるので、病院にお金をかけ

て誘致する必要があるのか」などの意見もありました。

質問 なぜ、ひらた中央病院視察がなかったのか。

答弁 委員の方から話が出ませんでした。

◆ 町長答弁から

質問 条件が合わなかったとは。

答弁 一貫して土地だけは準備しますので、建物を建てて運営してくださいという事が原点でした。「石川町が、病院を造つてくれるのは当たり前じゃないか」「造れ」「造らない」だけの話で折り合いがつかみませんでした。

質問 ひらた中央病院の理事長から石川町には行かないと連絡を受け、それで交渉を断念すると受け取ったのか。

答弁 その話はありません。そういうことも含め、総合的に判断しました。

質問 県の補助金を持つてくる努力をしたのか。

答弁 県・国とも「なかなか難しい」との話でした。

質問 病院が来るメリットを試算したのか。

答弁 経済的な効果も考えました。金額で試算するとなれば難しい点がありますので、致しませんでした。

質問 これからの石川町の地域医療をどうするのか。

◀ 安心して暮らせる地域づくりを願って！



答弁 石川町内にある8つの診療機関を支援していきたいと考えています。また、救急医療は、防災ヘリも含めたドクターヘリの着陸場を造っていきたいと考えています。

質問 町民への説明は。
答弁 その理由について、丁寧に説明していきたいと思えます。

Q 農作物の高付加価値化等について

A 6次化検討組織を立ち上げ、 農業者の所得確保に努めます



関根 信次 議員

◆農業振興について

【質問】 農作物の高付加価値化等による所得確保の取組について伺う。

【答弁】 今年度6次化経営モデルを確立するため、県と連携を図り、6次化に意欲的な農業者に対し、栽培技術及び加工技術の習得支援や加工機械等の導入経費に対する支援を実施しています。

さらに今後、農業者や加工業者、消費者等をメンバーとした6次化検討組織を立ち上げ、農産物を利用した高付加価値化を積極的に進め、農業者の所得確保



▲中山間地域の傾斜があるほ場

に努めたいと思います。

【質問】 中山間地域総合整備事業を活用した農業生産基盤の整備について伺う。

【答弁】 農業の生産条件等が不利な地域においては、基盤整備と生産・販売施設等の整備を一体的に実施することが可能な中山間地域農業

農村総合整備事業等を活用し、農地や農業水利施設、農道等の整備を進めるべく、関係機関と協議・検討していきたいと考えています。

◆上水道整備について
【質問】 上水道未普及地域の考え方について伺う。

【答弁】 現在、給水区域の拡大を検討している地域は、字長久保周辺、国道118号並びに県道いわき石川線沿いの給水未普及地区です。給水区域の拡大に伴う費用の算出など、企業会計の財政状況を十分に検討した上で、区域の拡大に対応していきたいと考えています。

【質問】 飲用井戸等の補助金があるが、補助率の引上げができないか伺う。

【答弁】 平成29年度より上水道の未普及地域に対して飲用井戸給水施設等整備事業補助金を実施しており、対象事業経費の2分の1以内補助金の上限額は50万円となっております。

補助率の見直しについては、年次計画を定め事業内容を検証した中で検討したいと考えています。

Q デマンド交通実証実験後の交通弱者支援の進め方は

A ドア・ツー・ドアに近い 予約型乗合タクシー等を検討する



増子美知夫 議員

◆デマンド交通の実証実験後の、進め方が見えていない

質問 交通弱者の外出支援づくりは実証実験後、動きがない。今後どのように進めていくのか伺う。

答弁 現在80歳以上の方を対象にタクシーチケット補助制度を試行的に実施しています。予約型乗合タクシーの導入については、ドア・ツー・ドアに近い新たな交通体系の検討を図りたいと考えています。

◆新たに策定する防災関連の計画とは

質問 新たな「石川町国土強靱化地域計画」の内容を見直しする「石川町地域防災計画」、新たな「各地区防災計画」の運用について伺う。

答弁 「国土強靱化地域計画」は自然災害に備え国土強靱化を推進する計画で道路事業などの交付金・補助金の採択基準となります。「地域防災計画」は平成27年に改訂していますが、国の法律との整合性、石川町のハザードマップ・指定避難所等の見直し、災害対策本部の再構築と災害対応業務の見直しを行います。

「各地区防災計画」は、台風第19

号の大規模災害を教訓として「初動体制のあり方」等の組織化を図り、防災・減災に対する意識の共有を図ることが目的です。この計画策定は、地域住民の視点、地域の特徴を見据え、地区で作成することになります。作成の支援を行っていますが、



▲台風第19号被災地の支援作業

◆希望出生率一・八の達成に向け「人口減少対策本部」が設置されたが



▲少子化対策が急がれる(親子そば打ち体験)

質問 少子化対策室を町の将来を担う重要部門として新設すべきと思うが、町長の考えを伺う。

答弁 町の人口構成は若者が少なく将来に不安があります。機構改革ではありませんが、少子化対策については、もう一度、検討させていただきます。

Q 財政に不安、大型事業は優先順位で取り組むべき

A 借金は増えるが、返済計画を定め、健全化を図る



渡辺 実 議員

質問 町は、15年前に

財政危機に陥り、職員
の削減や給与削減、事
業の縮小や廃止を行い、
約10年で正常化できた。
しかし、また、地方債
の増加などが進んでい
る。現状を伺う。

答弁 元年度末で経常
収支比率は88%に上昇
地方債残高は71億円に
増加、財政調整積立金
は8億円に減少してい
ます。しかし、実質公
債費比率などは基準を
下回り、健全と考えて
います。

質問 地方債残高は令
和2年度末で何億に。
答弁 80億円になると

想定しています。

質問 15年前の財政危
機でも、地方債残高は
79億円だった。今後の
大型事業は優先順位を
決めて取り組むべきで
は。

答弁 借金を恐れてい
たのでは仕事はできま
せん。健全財政を図り
ます。

意見 コロナ感染拡大
で、国や町の税収に大
きな影響がでる、脇を
締めて進める時と考え
る。

**Q 職員の健康管理は
健康面を考え、安
心な勤務体制をつ
くる**

質問 国の働き方改革
で、町は4月に規則を
改正したが、その概要
は。

答弁 超過勤務の上限

を月45時間、年間36
0時間とし、緊急性の
高い臨時的な業務は月
100時間、年間72
0時間と規定しました。
大規模災害などの特例
業務は、さらに命令で
きます。

**Q PCR検査の充実を
A 国・県に要望します**

い場合は自由診療で検
査を受けることができ、
2万〜5万円程度の負
担になります。

質問 PCR
R検査の受
け方と費用
を伺う。

答弁 症状
がある方は
帰国者・接
触者外来セ
ンターもし
くはかかり
つけ医に相
談し、保健
所や医師が
判断します。
費用は無料
です。
症状のな



▲改修整備が待たれる母畑浄水場

Q 限られた財源の中、今後予定されている事業について

A 浄水場、認定こども園、道の駅を計画しています



近内 雅洋 議員

質問 浄水場改修、認定こども園、道の駅の予定事業費及び財源を伺う。

答弁 浄水場の改修は、総事業費で20億円と見込んでおり、財源は自己資金4億円、企業債10億円、町の出資金6億円を予定しています。認定こども園の整備費は、総事業費で11億円と見込んでおり、財源は国庫支出金2億円、過疎対策事業債9億円を予定しています。道の駅の整備費は、総事業費15億円を見込んでおり、各種補助金6億円、過疎対策事業債9億円を予定してい

ます。

質問 本町の地方債残高が、ここ4年位で右肩上がりに増えている中、補助金と過疎債があるからと言って立て続けに事業を実施するのはどうか。

答弁 行政需要に応じた必要な事業を行い、活用すべき財源を最大限活用し、財源があるからではなく、必要な政策、行政需要に対応していきます。

質問 優先順位は、公共性の高い浄水場、認定こども園が優先されるべきで、道の駅は公共性が低いのではないかと。

答弁 優先順位については、各事業の年次の整備計画を調整し、中期の財政負担を見通した計画により判断したいと考えています。

質問 道の駅について、農業の活性化・振興を図るのであれば、直売所でもいいのではないかと。

答弁 交流人口の増加による経済効果、農業をはじめとする地域産業の振興、雇用の創出、高齢者の生きがい対策、防災拠点となる施設を考えています。

質問 防災拠点としては、野木沢の候補地は町中心部から遠すぎるのではないかと。

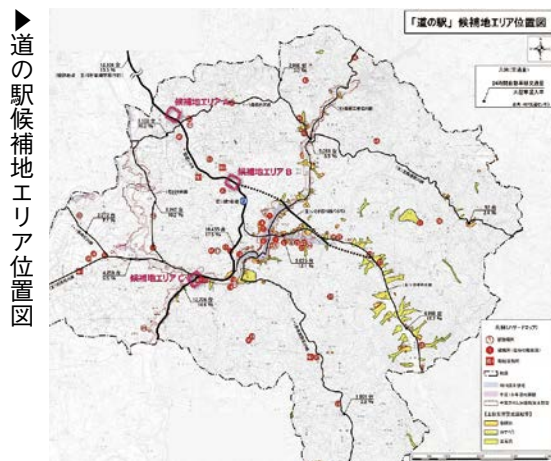
答弁 那須連峰が見える景観の良い場所で、河川もなく野木沢駅も近くにありません。

質問 浄水場の更新に加え、認定こども園と道の駅の完成が令和5年度になつている。本町の

経常収支比率が令和元年度には88・2%になつている中、維持経費のかかる箱物行政は控えるべきだ。

答弁 浄水場、認定こども園、道の駅で約46億円となりますが、年次計画で安定した状況で進めます。

質問 道の駅は、将来の負担とならないのか。
答弁 町が活性化し、採算ベースに合うように整備します。



▶ 道の駅候補地エリア位置図

Q 異常気象に伴う町の備えは

A 異常気象に対応できる施設の改善を県に要望します



小木 芳郎 議員

質問 水害や土砂災害に対する備えは。

答弁 住宅地の浸水、山間地の法面崩落、道路や水路施設の被災を踏まえ、定期的に施設点検を実施し、防災・減災に努めています。

質問 高温に伴う熱中症対策は。

答弁 保健師等の訪問を通じて健康状態を確認し予防に努めています。

質問 町内河川の堆砂の除去状況は。

答弁 県が管理する一級河川は、年次計画により堆砂除去を実施し



▲水郡線橋脚の堆砂状況(松木下地内)

については、土砂の除去作業を進めていきます。

要望 復旧は迅速に行い、危険箇所は積極的に改善を願いたい。

質問 3密を避けた避難所の体制は。

答弁 災害の場所、規模や避難者数を想定し、地域の集会所を臨時の避難所として開設するなど、避難所を増やし密集状態を作らない対策も検討しています。

要望 町民が避難をすることをためらう様なことがないように、避難計画・情報発信を適切に願いたい。

Q 屯所の整備は

A 集約・複合化も

視野に検討します

質問 老朽化が進む消防施設(屯所)の整備は。

答弁 昭和50年代に建築された施設が13施設あり、老朽化の進行が問題となっています。地域における消防防災活動を停滞させることのないように施設の整備を検討します。

質問 上水道が整備されていない地区の屯所について、近隣の住宅から井戸水を分けてもらう状況について町の見解を伺う。

答弁 消防団員が不都合と感じる部分については、改善が必要と考えます。地域の防災力強化のために一度点検します。

要望 町民の安心・安全を守る組織である。老朽化や不備がある施設は、改善を願いたい。

Q 平成25年ハザードマップの見直しは

A 令和3年3月末までの作成が最短です



瀬谷 寿一 議員

◆災害から身を守る 避難体制づくり

質問 県で指定した新しい洪水浸水想定区域の公表を早くできないか。

答弁 今出川、北須川流域がまもなく指定される予定です。指定された内容をそのまま周知広報することは可能と考えています。

質問 避難所が偏在しているのを見直しを。

答弁 地区内にある高台の広場やグラウンド及び集会所を緊急避難場所に指定し、避難所空白地を解消したいと

考えています。

質問 総合体育館周辺と石川中・石川小周辺施設は福祉避難所を兼ねた拠点避難所にできないか。

答弁 そういったものを想定しながら見直しを進めていきます。

質問 要介護者の情報などを行政区が共有することでスムーズな避難支援ができるのではないか。

答弁 行政区に事前に情報を出すことは、同意が必要なので情報管理を含めて検討中です。

要望 地区防災計画と自主防災組織、避難場所運営は、三位一体で機能するよう指導してほしい。

◆町の強みを生かした 観光戦略

質問 本町の温泉の収容能力は

1日1400人。昨年の平均稼働は、388人。この問題をどのように捉えているのか。

答弁 町としてできるのは、内外にPRさせていただけいて、誘客を進めることです。

質問 今年から国では、道の駅を観光の拠点として位置づけているが、観光部門の関わりが十分ではないか。

答弁 今後、観光振興についても関係部署間で十分な情報の共有を行います。

質問 本町の「道の駅」づくりで、国が指定する「重点道の駅」に挑戦する考えはあるか。

答弁 道の駅基本計画



▲国指定をめざす観音山鉱山跡
ペグマタイト鉱床(国内最大級の电气石)

策定当初から「重点道の駅」の申請については検討していません。引き続き選定されるよう前向きに検討します。

要望 石川町の観光振興策を進める上で、桜温泉に加えて、日本のペグマタイト鉱物と鉱物館、小林和平など三代で築き上げた狍犬などの石材彫刻、教育旅行の受け入れなど既成概念にとらわれない観光事業にチャレンジしてほしい。

Q [コロナ収束後本格的に交渉を]としていた病院誘致、なぜ今断念か

A 条件が整わず道が開けなかった



瀬谷 京子 議員

質問 9月7日唐突に誘致断念と発表された。なぜこのタイミングか、病院側と合意の上か。

答弁 町民への約束ですし、病院をつくることに夢がありました。ひらた中央病院さんは病院を造って運営し、町は土地を提供しましょう、ということでした。これまで繋がってきたわけです。条件が整わず道が開けなかったということです。

質問 具体的にはどういうことか。
答弁 病院は運営費、維持補修費、管理費がかかり、町の負担とな

り後世に借金を残すことは政治家としてできません。

質問 町が運営するのなら町立病院であり、私は不可能と思う。民営であるので町から運営費等の出費はないのでは。町が運営する認識だったのか。

答弁 決め方になりませんが、夜間診療、緊急医療をする場合は、町の負担が出てきます。

質問 その取り決めはされたのか、協議を重ねたのか。
答弁 そこまではいきません。

質問 病院建設費の町の試算が示された。しかし入る部分が表示されていない。年商数十億だとすると、病院の法人税、消費税、雇用、職員定住、等々によるものの試算。さらに交流

人口増、町の活性化等経済効果をシミュレーションされたか。

答弁 数字では出していませんが、経済効果の評価は大体しており、建築の総事業費に対してはちよつと厳しいかなと感じます。

質問 相手病院の経営状態、トップの理念、本町にどんな病院を作りたいのか等、調査したのか。

答弁 経営者の考え方には信頼とお互いの情熱が必要だが、それが出なかったのが最終的にはそこで折れるしかなかったということです。

意見 町民悲願の病院誘致が塩田町長の公約によって実現すると期待していた。最大のチャンスを見失ったと思う。町民への説明を願う。

◆災害対策について

質問 町民の避難訓練実施の要望が多いが。

答弁 地域防災計画の策定並びに自主防災組織等の地域との議論の中で提案していきたいと思えます。

質問 自主防災倉庫の設置は。

答弁 石川自治センター以外の5自治センターと総合体育館、モトガツコの7カ所に備品と共に設置します。



▲過去に行われた防災訓練(平成25年9月)

Q 県立石川高等学校の存続に向けた取り組みについて

A 公立高校が担う高等教育の必要性を認識し危機感を持って対処していきます



下山田和雄 議員

質問 キャリア指導推進校に位置づけ取り組んできたが、その成果は。

答弁 キャリア指導推進校としての取組内容実績について、全て町が承知しているわけではございません。本庁においても生徒の受け入れを実施しています。地域貢献活動においては、鈴木重謙屋敷を拠点とした「まちのリビングプロジェクト」に取り組んでいるところです。

質問 県立高等学校改革後期実施計画に盛り

込まれないよう積極的な支援を。

答弁 県立石川高校にしかない特色を活かした「いしかわワーク・アンド・ライフ」教育を行っていき、校長先生と協議しながら進めていきます。

質問 県教育委員会へ環境整備に向けた要請活動について。

答弁 生徒たちが安心した環境の中で学習ができるような対応を要請していきます。

質問 高校改革に対応するための県立石川高等学校振興連絡協議会の具体的な活動は。

答弁 県教育委員会に対し、再編整備の候補にならないように、いろいろな面で活動していきます。

質問 管内町村の関係者による要請活動の考えは。

答弁 振興連絡協議会



▶ キャリア指導推進校に指定されている県立石川高校

のメンバーは各町村長と教育長も入っていますので、これから連絡を密にして連携・協議をして対応していきたいと思えます。

◆ 北須川・今出川の堆砂の除去について

質問 猫啼堰に泥吐け口を設けることができないか。

答弁 現在、老朽化に伴い猫啼堰の取水土砂吐きゲートの改修工事を実施する予定ですが、大雨時にゲートを開けることについては、今後検討していきます。

◆ 災害等の際の行動マニュアルについて

質問 行動マニュアルの見直しは。

答弁 現在、分散避難・伝達連絡を速やかにできるような見直しを図りたいと考えています。

旧雇用促進住宅石川宿舎の今は



▲5階建て4棟が解体されました。9月4日撮影

あれからどうなった？

一般質問のその後は

●これまでの経過

- 旧雇用促進石川宿舎の所有者であった、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の協議により、令和元年7月に次の協定が結ばれました。
- ①建物は支援機構が解体する。
- ②土地は、更地の不動産鑑定評価額により（4340万円）石川町が買い取る。

- 今後の土地の利活用は
- 旧石川宿舎は、若者・子育て世帯を対象に賃貸



▲芝生広場と駐車場が整備されたモトガッコ

文教福祉複合施設(モトガッコ)の芝生広場と駐車場が完成

文教福祉複合施設（モトガッコ）の芝生広場が整備され、使用可能な

りました。お子さんも安心して遊んでいただけるように、機械による刈り取りや人力での除草を行いました。

また、駐車場も広く使いやすいくなり、全256台（軽自動車用13台・障がい者用5台）収容可能です。モトガッコや商工会などにお立ち寄りの際はぜひご利用ください。

住宅の供給を行うことを目的に取得した経緯があります。

解体後の跡地は、公共的かつ効果的な土地の利活用を図ることを、庁内

での協議・検討をします。また、売買契約上の制約について支援機構との協議を続けており、今年度中には方針を示したいと考えています。

未来に向かつて

・ 高校生の声

学法石川高校

3年 二瓶 耕太

自分自身への挑戦



一昨年、「自分への挑戦」と思い生徒会選挙に立候補し、私は今学法石川高校の生徒会副会長を務めています。普段人の先頭に立つて行動する経験がほとんどなかった私にとってそれはとても大きな決断でした。毎日のあいさつ運動や、文化祭や球技大会の運営、他校の生徒会との交流合宿

など、自分にとってとても刺激的な経験ばかり



▶私を大きく変えた生徒会活動

りでした。そんな中、学石のミュージックビデオを制作するという例年のない企画をすることになりました。内容についての話し合いを何度も続けていく中で、自分の意見を伝えられるように少しずつ努力していき、最後には積極的に主張することができるようになりました。無事完成した時の感動は忘れられません。

このような生徒会活動で得た経験は、自分自身を変える大きなきっかけになりました。今後も、「自分自身への挑戦」の気持ちを持ち続け、さまざまなことに取り組んでいきたいと考えています。

編集後記

紅葉だよりに旅心を誘われる季節となり、水田を見渡せば、収穫の時を待つ稲穂が風に揺られ、ほっとする瞬間です。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもたちの学校生活や町民の生活は、感染防止対策に取り組む日々が続いています。やりたいことが当たり前にできる生活を一日でも早く取り戻せるよう、議会としても様々な課題に対し、しっかりと対応していきます。

小木芳郎

12月定例会
「一般質問」は
12月7日(月)
の予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこのQRコードからアクセスできます。



- 議会広報
常任委員会
- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 瀬谷 寿一 |
| 副委員長 | 藤島 一浩 |
| 委員 | 乾 初美 |
| 委員 | 菊池 美知男 |
| 委員 | 根本 重泰 |
| 委員 | 小木 芳郎 |

